

並列論理型言語 「KL1」

概要

並列推論マシンのハードウェアから応用ソフトウェアに至るまで、並列推論システム全体の設計指針を与えた、Guarded Horn Clauses に基づく核言語

特徴

- 問題を多くの小さな問題に分けて処理する、細粒度並列処理を容易に記述
- OS から知識情報処理まで、すべてのソフトウェアの記述に使用
- プログラムの意味と処理の仕方の指定を明確に分離し、負荷分散を容易に
- PIM の全モデルに共通する言語仕様 → 高いソフトウェア移植性

